

第66回全日本中学生通信陸上競技愛媛県大会 【競技者・引率者の皆様へのお願い】

(一財)愛媛陸上競技協会普及委員会

【更新：R2. 7. 27】

本大会は、日本陸上競技連盟【陸上競技活動再開のガイダンス】(2020年6月11日付)を参考に、新型コロナウイルス感染予防対策を講じたうえで開催いたします。各学校・クラブの代表者は、下記の内容について参加選手・参加選手保護者または観戦希望者に対して、周知徹底してください。

- ① 競技者は、本大会1週間前から毎日検温を実施し、日本陸連作成「体調管理チェック表」に体温を記入のうえ大会当日に提出すること。(※各学校・クラブの代表者がまとめて、受付時に提出する。)
※ 提出がない場合は、出場できないことがあるので必ず提出すること。
- ② 大会当日、競技者・引率者は、平熱を超える発熱(おおむね37.0度以上)や体調がよくないとき(例：咳・咽頭痛などの症状がある場合)には、自主的に出場を控えること。
また、大会前日及び当日の2日間連続で、平熱を超える発熱(おおむね37.0度以上)がある場合も、自主的に出場を控えること。
※参加料については返金する。ただし、各学校・クラブの申込責任者から大会本部へ申し出ること。
- ③ 選手・引率者の開場時刻は7時30分とする。メインスタンド南側2階入口から入場すること。バックスタンドおよびサイドスタンドにチーム控え場所を設ける場合も、メインスタンドから入場すること。8時以降にバックスタンド入口(招集所以外)を2か所、各サイドスタンド入口を1か所開ける。バックスタンド、サイドスタンドからの入退場は選手・引率者のみとする。
- ④ マスクを必ず着用すること。特に下記の場所・状況においては徹底すること。
招集所、参加受付時、着替え時、会話時等
(なお、競技中、ウォーミングアップ中は着用しなくてもよい。)
※特に、招集時には必ずマスクを着用し、選手確認を受けること。
- ⑤ 各学校・クラブにおいて消毒用アルコール液か液体手洗い石けん等を準備し、こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
※石けんや消毒等については各学校・クラブで必ず準備してください。
- ⑥ 競技に参加する際は、各自で手洗い・消毒を済ませた後、招集所へ来ること。また、競技終了後、ただちに各自、手洗い・消毒を行うこと。
- ⑦ 観客席や控え場所において、観客や選手同士との距離を2m以上確保すること。
- ⑧ 応援は周囲と間隔をとり、密にならないように気を付けること。連呼など集団での応援は禁止とする。
- ⑨ 個人・またはチーム内で出たごみは、各自が自宅へ持ち帰ること。
- ⑩ 記録の掲示については、競技終了後、大型映像で表示する。競技場メインスタンド下、正面玄関付近での記録掲示は行わない。なお、記録速報を愛媛陸協HPから確認できる。
- ⑪ 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルスへの感染が確認された場合は、大会主催者に報告すること。<愛媛陸上競技協会事務局 089-968-2229>
- ⑫ 上記の他、大会主催者や競技場管理者からの感染症予防対策や注意喚起等の指示に従うこと。
- ⑬ 本大会を開催するにあたり、観戦者(保護者等を含む来場者全員)の把握が必要となる。そのため、各学校・クラブ代表者は、事前に各学校・クラブの観戦希望者へ本協会作成の「入場申請書(中学通信陸上用)」を配付し、必要事項を記入のうえ、来場するよう周知すること。2日間観戦する場合は、両日ともに「入場申請書」の提出が必要。また、引率者も「入場申請書」を提出すること。(ただし、審判員は不要。)申請書を忘れた場合は、スタンド入口で手続きをすれば観戦可能であるが、混雑回避のため、各学校・クラブ代表者の責任のもと、申請書の有無など事前確認を行いスムーズな入場申請に協力すること。なお、観戦希望者の入場受付開始時刻は8時とし、入退場ともにメインスタンド南側2階のみとする。

◆ 安全な大会運営に、ご協力お願いいたします ◆

競 技 注 意 事 項

本大会は、2020年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会要項および申し合わせ事項によって行う。

また、新型コロナウイルスへの対応については、十分注意し、参加すること。

1 練習について

練習は、補助競技場および雨天練習場（使用方法について下記参照）を原則とする。砲丸投の練習は、係員の指示に従って補助競技場内トラック外側の砲丸投ピットのみで行う。

補助競技場の使用について

レーンの使用については以下の通りである。

- ・1～2レーンは周回練習のみ使用可とする。
 - ・3～4レーンは短距離練習のみ使用可とする。
 - ・ブロックを使用してのスタート練習は多目的広場側直走路5～10レーンのみとする。
 - ・多目的広場側直走路7・8レーンは女子100mH、9・10レーンは男子110mHとする。
- ※リレーの練習は用具倉庫前第2コーナー付近を利用して行うこと。第4コーナー付近でのリレー練習は行ってはならない。

雨天練習場の使用について

- ①雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。
- ②雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止する。
- ③シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ④ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。以外は、補助競技場で行うこと。
- ⑤ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。
- ⑥ハードルは使用できない。

棒高跳について

競技開始60分前から現地にて跳躍練習を行うことができる。ただし、他の競技に影響がでないように、審判員の指示に従うこと。

2 スパイクシューズの制限について

全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳は12mm以下とする。

3 アスリートビブス（ナンバーカード）について

- ・アスリートビブス（ナンバーカード）は指定の大きさのまま数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。ただし、跳躍競技（走高跳・棒高跳・走幅跳）に出場する選手はどちらか一方でもよい。
- ・トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの左右横やや後方につけること。競技終了後必ず係員に返却すること。
- ・3000mは別ナンバーカードを招集所にて配布する。

4 選手招集について

- ① 選手招集場所は第2コーナー付近とする。
- ② 選手招集開始時刻、招集完了時刻は次のとおりとする。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技（四種競技を含む）	競技開始30分前	競技開始20分前
フィールド競技（四種競技を含む）	競技開始40分前	競技開始30分前
フィールド競技（棒高跳）	競技開始70分前	競技開始60分前

※棒高跳は現地招集を行う。

ただし次の種目の予選については招集完了時刻を段階的に行うので注意すること。

種目	組	招集完了時刻	種目	組	招集完了時刻
1000m	1～3組	競技開始20分前	3000m	1組	競技開始20分前
2000m	4～6組	競技開始10分前		2組	競技開始5分前
4000m	7～9組	競技開始時刻	4×1000m R	1～2組	競技開始20分前
	10～11組	競技開始10分後		3～4組	競技開始10分前
8000m	1～2組	競技開始20分前	/		
15000m	3～4組	競技開始10分前			
	5組	競技開始時刻			

- ③ 招集完了時刻に遅れた選手は、棄権となる場合があるので時間を厳守すること。
- ④ リレー種目に出場するチームは、その種目の1組目の招集完了時刻の1時間前までにオーダー用紙を競技者係まで提出する。※一度オーダー用紙を提出したら、その後の変更は、招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められない。用紙は、招集所にて準備する。
- ⑤ やむを得ず棄権する場合は、競技者係に申し出る。

5 競技用具について

- ① 競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。
個人所有のポールの検査は最終点呼時に跳躍審判員が実施する。
- ② 練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んではいならない。

6 競技について

- ① その競技をする選手以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。
- ② トラック競技のスタートについては、下記のとおりとする。
「不正スタートについては、各レースでの不正スタートは1回目からすべて失格とする。」
- ③ スターターの合図は英語とする。（「On your marks」、「Set」）
- ④ 短距離走では選手の安全のため、決勝線到着後も自分に割り当てられた走路(曲走路)を走ること。
- ⑤ トラック競技は全て写真判定で行う。
- ⑥ トラック競技において、同記録者がでた場合は、写真判定主任により写真を拡大し細部（電気時計 1/1000）まで読み取り着差の判定をする。
- ⑦ レーンで行う競技種目で棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- ⑧ リレー競技のマーカの使用は1カ所とする。使用したマーカはそのチームで処理する。
- ⑨ トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で表す。
- ⑩ トラック種目は全てタイムレース決勝とする。
- ⑪ 走幅跳・三段跳・砲丸投は3回の試技を行い、上位8位を決定する。上位8名の者は、さらに3回の試技を行い順位を決定する。
- ⑫ 競技場内での跳躍、投てきの練習は、審判員の指示によって行う。

- ⑬ 携帯電話等の通信機器・ビデオ・デジタルカメラ等を競技場内に持ち込むことはできない
 コーチエリアからのコーチの持つ映像を見せることはできる。ただし、選手が機器等を手に
 持って画像を確認することはできない。

7 走高跳・棒高跳のバーの上げ方

		練習							以降
走高跳	男子	125	130	135	140	145	～5cm 刻み	170	3cm 刻み
	男混	125	130	133	136	139	142	145	3cm 刻み
	女子	110	115	120	125	130	～5cm 刻み	155	3cm 刻み
	女混	110	115	118	121	124	127	130	3cm 刻み
棒高跳	男子	180	200	220	240	260	280	300	10cm 刻み
	女子	150	160	180	200	210	220	230	10cm 刻み

第1位決定のために行うバーの上げ下げは、
 走高跳 2cm、棒高跳 5cm 単位とする。

8 競技場への入退場について

種目別入退場口は下記の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。

第1ゲート：第1コーナー付近からスタートするトラック競技

第2ゲート：1500mおよび棒高跳・投てき競技

第3ゲート：第3コーナー付近からスタートするトラック競技および走高跳

第4ゲート：100m付近からスタートするトラック競技および走幅跳

9 表彰について

各種目個人の1～8位の賞状を授与する。リレーは1～3位の賞状を授与する。ただし、表彰式は行わないので、
 メインスタンド下、正面玄関ロビーに取りに来ること。

10 その他

① 応急処置を要する場合やその他健康上の問題が生じた場合、メインスタンド下の医務室に連絡すること。

② 記録の掲示については、競技終了後、大型映像で表示します。競技場メインスタンド下、正面玄関付近での記録掲示は行いません。なお、記録速報を愛媛陸協HPから確認できます。

○競技会で使用される主な略号について

日本語表記	略号
欠場	DNS
途中棄権	DNF
記録なし	NM
失格	DQ
標準記録突破による通過者 または順位による通過者	Q
記録による通過者	q
愛媛県新県記録（愛媛県タイ記録）	PR（=PR）
愛媛県高校新記録（愛媛県高校タイ記録）	PHR（=PHR）
愛媛県中学新記録（愛媛県中学タイ記録）	PJR（=PJ）
大会記録	NGR